

中国廃棄自動車回収解体業界 現状及び展望

劉永彬

2016年11月

目次

一

・ 廃棄自動車回収解体の意義

二

・ 廃棄自動車回収解体業界の現状

三

・ 廃棄自動車回収解体業界の今後発展
方向性

一、廃棄自動車回収解体の意義



意義

自動車産業は国民経済発展の基幹産業であり、廃棄自動車の回収と解体の推進に力を入れるのは、自動車産業循環型発展を促進する重要な過程である

資源の節約利用と国の天然資源保護性開発の重要な取り組みである

エネルギー節約、環境汚染削減、生態バランス維持の重要な方式

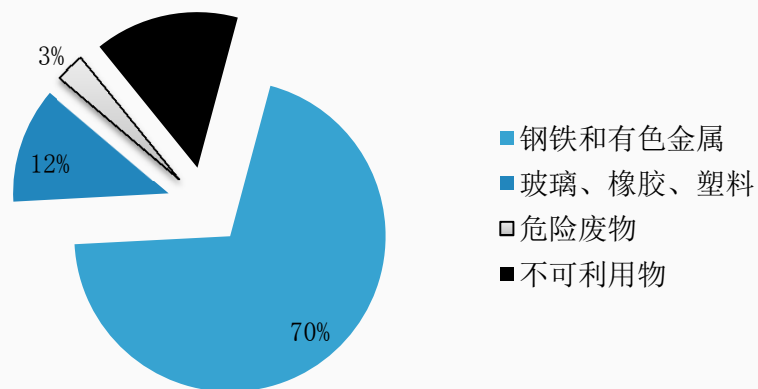
社会投資を刺激し、就業を促進し、経済効果を上げるのに重要な役割を有している

廃棄自動車解体物には非常に多くの経済価値がある



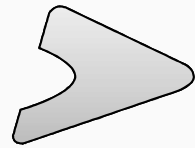
**85%
回收可
能資源**

廃棄自動車解体物比率構成



廃棄自動車解体物には非常に多くの経済価値がある

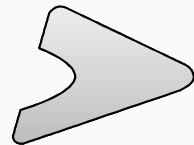
85%の利
用可能
資源



可再生材料

鋼鉄(五大アセンブリ)、非鉄金属(鉛、銅、アルミ、錫)、貴金属(プラチナ)、ガラス、エンジニアリングプラスチック、皮革等

解体物は廃棄材料として直接販売できるだけでなく、一定条件に達すれば再製造でき、それによって利用価値をあげられる。五大アセンブリ、部品、自動車電子などはすべて再製造できる。



再生可能用品

電気器具(エンジン、モーター、ライトガラス、ドアと窓)、電子部品(センサー、ECU、アクチュエータ)、規格部品(窓ガラス、固定具、連結部品など)等

廃棄自動車解体物には非常に多くの経済価値がある



廃棄自動車は循環型経済の川上の重要な原材料源として、その他原材料(廃棄家電、廃棄パソコン、プルトップ缶など)に比べ、在庫量が多い、資源価値が高い、部品が再製造応用可能などの特徴があり、循環型経済の川上原材料源の重要な柱である。

▶ 廃棄自動車には鉄鋼72%(69%鉄鋼+3%鋳鉄)、プラスチック11%、ゴム8%、非鉄金属6%が含まれ、基本的に全てを回収利用< できる。1000万台の廃棄自動車を例に、その中に含まれる「財産」を計算すると、そこに含まれる鉄鋼量は宝鋼の2011年の年間粗鋼生産量の25%に相当し、含まれるゴムは2011年の全国輸入天然ゴムの57%に相当する。これからわかるように、廃棄自動車を循環利用すると非常に多くの経済価値を獲得できる。

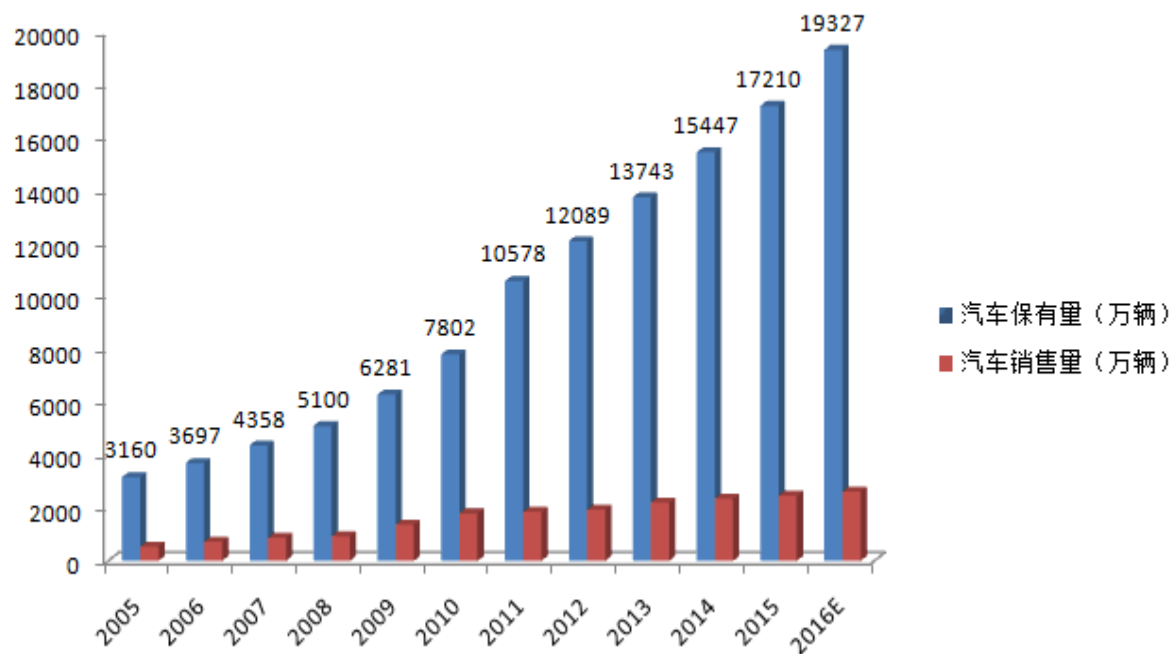


二、業界の現状

1

廃棄自動車の潜在的市場空間は巨大

2005-2016年我国汽车保有量和销售量



データ出典：国家统计局、中国自動車工業協会（2016年データは見込みデータ）


2016年6月末時点で、全国の路上走行車保有台数は**2.85億**台に達し、そのうち自動車は**1.84億**台である

上半期の新規登録自動車数は**1328万台**に達し、前年同期に比べて**199万台**増加し、前年同期比**17.62%の増加**である。

2016年末には全国の自動車保有台数は**1.9億**台を超える見通しである。

ピークがまもなくやってくる

中国自動車産業はすでに中高速成長段階にあり、工業化情報部の推計では2020年中国自動車保有台数は**2.5億**台を超え、自動車廃棄台数は**2000万**台前後に達する。



2017年の廃棄
自動車増加速度はピークに
達する見通し

2

業界の発展は国及び関連主管部門から重要視される

グリーンは中国「十三五」期間の経済発展の主要テーマとなり、国民経済の柱である自動車工業も例外ではない。中国自動車市場は近年飛躍的な発展を遂げ、自動車製品のモデルチェンジ頻度は徐々に加速し、廃棄自動車数量は増える一方であり、回收利用市場の潜在力は巨大である。近年、多くの廃棄自動車業界に関連する法律法規が相次いで打ち出されている。

2

業界の発展は国及び関連主管部門から重要視される

法規
公布し
実施した
法律

2001年6月

・『廃棄自動車回収管理弁法』

2008年3月

・『自動車部品再製造試行管理弁法』(発改弁環資[2008]523号)

2013年5月

・『路上走行車強制廃棄規定』

2015年6月

・工業化情報部公布『自動車有害物質と回収利用可能率管理要求』

2015年10月

・五部門が共同で『イエローラベル車淘汰作業の全面推進に関する通知』を印刷配布

2016年4月

・『国務院2016年立法作業計画』廃棄自動車回収管理弁法を改訂

2016年9月

・『国務院の「廃棄自動車回収管理弁法」の改訂に関する決定(意見募集稿)』

3

業界の発展は国及び関連主管部門から重要視される

技術規範
発布し
実施した
関連

2007年4月

- ・『廃棄路上走行車解体環境保護技術規範』(HJ 348 —2007)

2008年11月

- ・『廃棄自動車回収解体企業技術規範』
(GB 22128—2008)

3

業界の政策体系が日増しに整備される

2016年9月、国が『国務院の「廃棄自動車回収管理弁法」の改訂に関する決定(意見募集稿)』を公表し、業界全体に新たな契機をもたらした。

『廃棄自動車回収管理弁法(意見募集稿)』の修正内容

資格認定は
国務院廃棄
自動車回収
管理部門及
び環境保護
部門が担い
、特種業界
管理を取り
消す

廃棄自動車
は必ず登記
地にて抹消
するという条
項が削除さ
れる

五大アセン
ブリは規定
の自動車再
製造企業に
販売できる

廃棄自動車
回収活動に
従事する申
請条件が変
わり、より専
門家、環境
保護化が加
わった

3

業界の政策体系が日増しに整備される

業界に与える影響

廃棄自動車回収企業資格許可制度を整備し、業界参入が次第に自由化

意見募集稿は国が廃棄自動車回収企業に資格認定制度を行うことを明確にしている。特種業界管理を実施せず、登記資本、敷地面積、従業員人数に対する具体的要求を取り消し、企業の解体操作規範、廃棄物保存処理設備などより業界に合った要求を強調している。

廃棄自動車は地域を越えて流通できる

新たな条項では、「自動車登録登記地の公安機関にて登記抹消手続きをする」から「速やかに公安機関交通管理部門にて登記抹消手続きをする」に変わった。この変更後、各地区間の廃棄自動車は互いに流通できるようになり、地区間の廃棄自動車解体企業の競争が激しくなり、同時に各廃棄自動車解体企業により多くの廃棄自動車入手源を提供する。

3

業界の政策体系が日増しに整備される

対業界に与える影響

五大アセンブリは指定の自動車再製造企業に販売できる

現行条例では、「五大アセンブリ」は必ず金属スクラップとして強制的に炉に戻して鋳潰さなければならない。今回の『意見募集稿』では発改委の制定した自動車部品再製造試行企業に販売することを承認した。2016年5月時点で、発改委は2回計42社の再製造試行企業を公示している。

廃棄自動車企業資質認定申請はより専門化、環境保護化した

廃棄自動車回収企業の資格方面では、意見募集稿は現行条例の登記資本、敷地面積、従業員人数に対する具体的要求は弱くなったが、企業が環境保護法律、法規と標準要求を満たす廃棄物保存、処理設備、施設、廃棄自動車解体活動に対応した専門技術者、及び整備された内部管理制度と解体操作規範を有していることを強調している。

4

業界の解体規模が次第に拡大

600社余りの
企業

従事者
2.8万人

解体業界の発展は 着実に進んでいる

回収拠点
2358箇所

80%以上の
県級行政区域
を網羅

2015年、年間に回収解体した廃棄路上走行車は合計**277.53万台**で、前年同期比**26.1%**増加した。廃棄自動車の回収解体は**260万台**で、前年同期比**18.18%**増である。

解体によって生み出された再生資源総量は**871.88万トン**に達し、前年同期比**170.8%**増である。

データ出典：商務部データを整理して取得

5

企業の環境保護意識が向上

近年、国が廃棄自動車業界環境汚染防止管理能力研修を実施し、廃棄自動車解体の前処理、解体粉碎、製品貯蔵などの工程段階で発生した環境汚染問題を深く研究することで、企業管理者の環境保護意識水準、技術者の環境汚染防止能力が大幅に向上した



過去。廃油、有害ガス汚染が深刻

現在、床は硬化浸透防止、工場内はクローズ式解体である



6

解体技術水準が着実に向上

数年間の政府主管部門の大きな支援と積極的な主導を経て、業界内のほとんどの解体企業は技術研修と知識アップデートを通じて、従来の町工場式溶接ガン解体から、徐々にワークショップ内の一貫した流れ作業式解体に転換している。専門化、機械化解体水準も年々向上している。

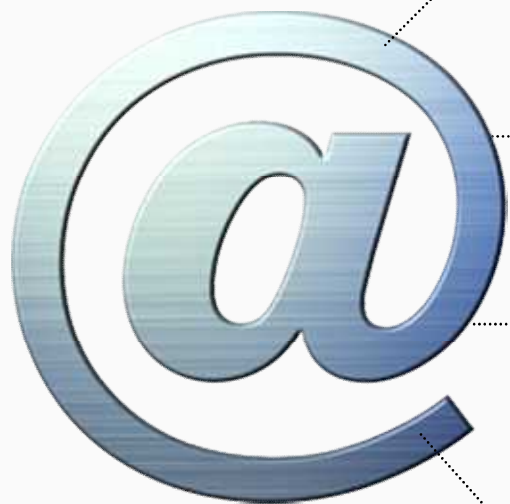
旧式溶接ガン解体



新式自動化、流れ作業解体



三、廃棄自動車回収解体業界の今後発展方向性



● 経済政策を整備する

● 技術革新を強化し、企業のハードウェアの参入条件を上げる

● 環境保護規範を改訂し、企業の環境保護処理水準を上げる

● 再製造政策を規範化、整備し、資源転換率を上げる

1

政策誘導を強化

業界に
現在
存在する
問題

- ・ 廃棄自動車の正規回収比率を上げる必要あり
- ・ 企業装備水準がかなり低い
- ・ 環境保護化解体比率を上げる必要あり
- ・ 市場集中度が不十分不尠

前記問題を解決するため、以下を提案する：

生産者責任性の確立

環境保護化解体基金の設立

経営者の税負担の低減

路上走行車取消監督力の拡大

廃棄自動車を有害廃棄物管理に盛り込む

2

技術革新を強化し、企業の環境保護、ハードウェア参入条件を上げる



自動車部品、廃棄プラスチック、ガラス、ゴムなどの物品資源利用技術の研究開発力を増大し、全国廃棄自動車回収業界の発展を統一的に計画配置し、厳格な業界参入条件を研究して確立し、業界の持続的な発展能力を高める。

3

環境保護規範を改訂し、企業の環境保護処理水準を上げる

改訂整備

『廃棄路上走行車解体環境保護技術規範』



廃棄自動車業界環境汚染防止管理能力研修を実施



企業管理者の環境保護意識水準を向上
技術者の環境汚染予防能力を強化

4

再製造政策を規範化して整え、再製造、再利用水準を上げる

- ・ 解体から独立したものを除く自動車部品品質保障体系を構築する。
- ・ 『廃棄自動車部品再製造技術規範』、『製品品質検査標準』及び『使用監督管理弁法』を確立し整備する。
- ・ 廃棄自動車部品の再製造、再利用を促進する。

最後に

「美しい中国」の建設、環境保護重視の背景の中、中国再生資源分野のリーディング企業として、中国再生資源開発有限公司は今後も国の廃棄自動車業界の発展を全面的に推進していきます。

同時に、当社は国内外の専門家学者、優位企業との技術提携を歓迎します。それぞれの強みを合わせて、深く協力し合うことで、廃棄自動車産業を資源、環境保護事業にし、優位性の相互補完、資源の共有、Win-Win、発展の共謀の原則で、全面的な提携を展開し、経済効果と社会効果の二つの勝利を実現し、国の廃棄自動車業界発展のための新たな道標を打ち立てたいと思っています。

四、今後の発展方向性

4

再製造政策を規範化、整備し、資源転換率を上げる

廃棄自動車部品の再利用、再製造に関する法規を研究し制定する

『廃棄自動車部品再製造技術規範』、『製品品質検査標準』及び『使用監督管理弁法』を確立し整備

廃棄自動車及びその部品と材料の解体、再利用と回收利用を促進

ありがとうございました